



☆うち読の習慣を

1学期も残すところあと3週間となり、夏休みが間近になってきました。学校では子ども達が、日々学習や運動に頑張っています。ご家庭ではいかがでしょうか。前回の『うちがく通信』では、自主的に学習に取り組んでいくために「家庭学習について」を掲載させていただきました。学習環境づくりや「花まるデー」のご協力ありがとうございます。引き続き、「学習の手引き」や「うちがく通信」を参考にし、家庭学習を進めていけるようご協力よろしく申し上げます。今回は、読書について参考にしていただけたらと思います。

☆絵本のある子育て

絵本・その魔法の力

すぐれた絵本を

① 絵・・・美しいものへの感性

・子どもは、絵本を読んでもらいながら、いっしんに絵を見ています。

絵本の絵は、子どもに見つめられるに足る美術であり、美しいものへの感性が育ちます。

② 言葉・・・言葉^{はく}を育む

・言葉は、考え、思い、学び、伝えるための手だてです。言葉が豊かになることは考えや学びが豊かになることです。

③ 物語・・・子どもの真の姿を描く

・その物語が、その年ごろの子どもの心の世界と真に響き合っていること。



読んであげてください

○ 聞く、話す、読む、書くという言葉の力のなかで、最も早くに発達するのは、聞く力です。

子どもは、絵本の読み聞かせによって、ずいぶん深い内容を理解できますし、情感を深めていくことができます。

○ 絵本を読んでもらう時間は、身体も心も親に抱きとめられ、あまえを受け入れられ、親からの丸ごとの愛を感じていられる時間です。

こどもの本の童話館グループ「絵本のある子育て No37」より

◎読書をすることの効力！

・言葉の力

(豊かな語彙を使って、考えたり表現したりする力)

・思考力

(言葉をつなげて新しいものを組み立てる力)

・話を集中して聞く力

・抽象的な想像力

・活字や本への親近感

・知的な好奇心をもつなど

◎親子で本に親しむ

・家庭での読書を、少しの時間でも1日の生活に入れてみてください。

また、親子で同じ本を読んでみて感想を言い合ったり、お子さんに読み聞かせをしたりして、楽しみながら本に触れる機会を増やして頂けたらと思います。

◎うち読のめやす

1～4年 1週間 2冊以上

5・6年 1週間 50ページ以上